# 2022年度 統計データ分析コンペティション 審査員奨励賞 [大学生・一般の部]

# 幸福度の年代別決定要因の比較

三原 龍、內野 宏紀、小島 慈子、八木 真大朗 (青山学院大学経済学部)

# 幸福度の年代別決定要因の比較

三原龍\*1・内野宏紀\*2・小島慈子\*3・八木真大朗\*4

\*1: 青山学院大学経済学部経済学科

\*2: 青山学院大学経済学部経済学科

\*3:青山学院大学経済学部経済学科

\*4: 青山学院大学経済学部経済学科

# 1. 研究のテーマと目的

「幸福とは一体何か。」誰しもが一回はこのような疑問を抱いたことがあるだろう。幸福かと聞かれて も、今自分が幸福であるということを常々感じているわけではない。これまで多くの人々の頭を悩ませ てきた問題である。

一般的に幸福度を考える際に、所得が大きく関係しているように思われるが、Easterlin(1974)の実証結果で得られた「幸福のパラドックス」では、経済成長によって一人当たりの所得が増加しても、ある一定の水準を超えると一人当たりの所得の伸びと幸福度の伸びが明確な相関を持たなくなることが示されている。幸福のパラドックスが起きる有力な説明として、Easterlin(1974)の相対所得仮説とHelson(1974)の順応水準理論がある。相対所得仮説では、所得が絶対的に増加しても他者との相対的な位置付けが上昇していなければ、幸福度は上昇しないというものであり、順応水準理論では、所得が上がった際に一時的に幸福度は上昇するが、その状況に慣れてしまうと、幸福度は元の水準にまで低下してしまうというものである。

所得と幸福度には明確な相関がないことが幸福のパラドックスより窺えるが、真に幸福度と相関を持つものは何であろうか。国連が設立した持続可能開発ソリューション・ネットワーク(SSDN)が毎年発表している世界幸福調査(World Happiness Report)を参考にすると、この中で日本は153カ国中54位となっており、先進諸国の中では最低順位の結果である。しかし、冒頭にも述べたように自分が幸福であるかどうかというのはなかなか体感しにくいものだと考える。世界各国の幸福度に関して一律に比較することは様々な国民性がある中で疑問が残るところである。

また、厚生労働省が発表している令和三年度自殺対策白書においては 15~34 歳の死因の第一位が自殺となっている。加えて、G7 を構成する国の中で 10 歳代~20 歳代における死因の第一位が自殺となっているのは日本だけである。日本の 15 歳~34 歳までの死因の第一位が自殺であることも問題であるが、これは若年層における幸福度の問題が大きく関連していると考えられる。

本稿では日本における幸福度を年代ごとに行い、幸福度に対して何がどのような影響を与えているのかを考察し、幸福度上昇のために必要なものは何かを回帰分析によって検証する。

分析の結果、各年代共通してスポーツを生活に取り入れることが幸福度を決定する上では重要であり、 所得の高低に関しては幸福度に影響を与えないことが与えないことがわかった。また、年齢が上昇する とともに幸福度を決定づける要因が自分個人に向けたものではなく、子どもなどの将来世代へと移って いくことが明らかになった。

本稿の構成は以下のとおりである。まず次節と第3節で分析手順とデータについて確認し、第4節で

分析の結果を考察。第5節で結果の解釈を行い、第6節で結論と今後の展望について述べる。

# 2. 研究の方法と分析手順

本稿では幸福度の決定要因を特定するために、幸福度を被説明変数、幸福度に影響を与えていると考えられる変数を説明変数とした回帰分析を行う。ただし、説明変数の数が非常に大きいケースを許容するため、Lassoによる罰則付回帰を行う。

線形回帰モデルにおいて、Lasso は残差二乗和とℓ¹罰則項の和

$$\sum_{i=1}^{N} (y_i - \tilde{\beta}_0 - \tilde{\beta}_1 x_1 - \tilde{\beta}_2 x_2 - \dots - \tilde{\beta}_k x_k)^2 + \lambda \sum_{j=1}^{k} |\tilde{\beta}_j|$$

を最小化する $\tilde{\beta}_0$ , $\tilde{\beta}_1$ ,..., $\tilde{\beta}_k$ として定義される。ここで、yは被説明変数、 $x_1,x_2$ ,..., $x_k$ はk個の説明変数である。また、 $\lambda$ は正則化パラメーターと呼ばれ、 $\lambda \to \infty$ ならばすべてのパラメーターが 0 となり、逆に $\lambda \to 0$ ならば制約条件を与えていないときと同じとなる。Lasso では、被説明変数に影響を与えている説明変数については非ゼロの値を取り、そうでない説明変数については 0 の値をとる。

ただし、Lasso には本来 0 を取るべき説明変数についても非ゼロとしてしまう偽陽性の傾向が見られることが知られているため、今回は Adaptive Lasso を用いる。Adaptive Lasso では通常の Lasso の罰則項に、以下のようにウェイトwをかけることによって偽陽性の傾向を回避することが期待できる。

$$\sum_{i=1}^{N} (y_i - \tilde{\beta}_0 - \tilde{\beta}_1 x_1 - \tilde{\beta}_2 x_2 - \dots - \tilde{\beta}_k x_k)^2 + \lambda \sum_{i=1}^{k} w_i |\tilde{\beta}_i|$$

ここで、 $w_j$ の値は、Lasso 推定量の逆数としており、それを $\beta_j^{Lasso}$ とすると $w_j$ は以下のように計算できる。

$$w_j = \frac{1}{\beta_j^{Lasso}}$$

また、λの値は自動的に決まるのではなく、事前に適切な値を決めておく必要があり、本稿ではクロスバリデーションでそれを決定する。そのため、λの値は分析を行うごとにランダムな値を取る。このことに起因する偏りを防ぐために 1000 回の試行を行い、説明変数のうち非ゼロと出た回数が 100 回以上のものをその年代の幸福度の決定要因とする。¹また、分析には R の glmnet パッケージを用いて行う。

## 3. データセットの加工

本節では、本稿で用いたデータの概要、及び行ったデータの抽出・加工の方法について述べる。

#### 3.1 幸福度

本稿で用いる幸福度は、東京大学社会科学研究所附属社会調査・データアーカイブ研究センターSSJ データアーカイブから提供を受けた、内閣府が 2019 年度と 2020 年度に行った「満足度・生活の質に関する調査」の生活の満足度を都道府県ごとに平均値を算出し、その値を都道府県の幸福度として利用する。また、年代の区分は「満足度・生活の質に関する調査」に従い、「~24歳」「25歳~34歳」「35歳~44

<sup>1</sup> 今回の分析では各年代の幸福度の決定要因を比較することが目的であるため、係数の大きさは考慮しない。

歳」「45歳~59歳」「60歳~」の5区分とする。

#### 3.2 使用した説明変数

説明変数には、教育用標準データセットからは学習時間や趣味・娯楽の時間といった生活時間のデータを含む「SSDSE-社会生活」及び総人口や合計特殊出生率といったデータを含む「SSDSE-基本素材」を使用した。また、e-Stat より「行政」「労働・経済」「教育・勉学」「医療・福祉」「家族・生活」の5分野から幸福度に影響を与えていると考えられるデータを追加した。例として、「行政」には昼夜間人口比率や地方税割合、「労働・経済」には県民所得対前年増加率や完全失業率、「教育・勉学」には大学数、「医療・福祉」には通院率や老人ホーム数、「家族・生活」には降水日数やごみ埋立率、実収入といったデータが含まれている。追加した説明変数の183項目は本稿末尾の付表に記した。

# 4. データ分析の結果

本節では、世代ごとの分析の結果を表にまとめたものとその解釈を示す。

変数回数被服及び履物費割合(2人以上の世帯)250短期大学数(人口10万人あたり)250着工新設貸家比率211介護関係の学習者率195剣道195

表 1. 24歳以下の幸福度決定要因

表 1 は 24 歳以下の幸福度決定要因である。24 歳以下において特に非ゼロとなった回数が多かったのは、着工新設貸家比率、被服及び履物費割合、短期大学数である。学生から社会人になるタイミングで一人暮らしをする人が多いこの年代では最低限の生活に必要な環境や衣服に関するものが非ゼロとなった。

変数	回数
ボウリング	989
身の回りの用事	982
学業	963
森林面積割合	919
障害者を対象とした活動	429
一般病院の1日平均外来患者数(人口10万人あたり)	429
火災出火件数(人口10万人あたり)	351
不登校による中学校長期欠席生徒比率(年度間30日以上)(生徒千人あたり)	218

表 2. 25~34歳の幸福度決定要因

表 2 は 25~34 歳の幸福度決定要因である。25~34 歳において特に非ゼロとなった回数が多かったのは、ボウリング、身の回りの用事、学業、森林面積割合である。働くことが生活の中心となるこの年代では、仕事以外の時間に関する変数が非ゼロとなった。

表 3. 35~44歳の幸福度決定要因

変数	回数
認定こども園数(0.5歳人口10万人当たり)	998
婚姻率(人口千人当たり)	984
ゴルフ (練習場を含む)	975
年平均気温	850
体育館数(人口100万人あたり)	810
消費者物価指数対前年変化率	100

表 3 は 35~44 歳の幸福度決定要因である。35~44 歳において特に非ゼロとなった回数が多かったのは、ゴルフ、婚姻率、体育館数、年平均気温、認定こども園数である。家庭を持つ人が多いと考えられるこの年代では、子どもを育てる環境に関する変数が非ゼロとなった。

表 4. 45~59歳の幸福度決定要因

変数	回数
国際協力に関係した活動	998
自然増加率	998
健康や医療に関係した活動	993
核家族世帯割合	948
消費者物価指数対前年変化率	941
スポーツ	698
大学数(人口10万人あたり)校	589
バスケットボール	465
卓球	252
道路交通法違反検挙件数(人口1000人あたり)件	105

表 4 は 45~59 歳の幸福度決定要因である。45~59 歳において特に非ゼロとなった回数が多かったのは、健康や医療サービスに関連した活動や国際協力に関係した活動、自然増加率、核家族世帯割合、消費者物価指数対前年変化率である。子どもがある程度成長し、手を離れるようになるこの年代においては、家族とのつながりの増加ないしは自分が健康体でいられることに関する項目が非ゼロとなった。

表 5. 60歳以降の幸福度の決定要因

変数	回数
ごみ1人1日当たりの排出量	1000
ゲートボール	1000
各種学校数	1000
通院者率	999
商工費割合.都道府県財政	983
常設映画館数	848
平均余命.0歳.女	802
社会福祉費割合.都道府県財政	796
快晴日数	794
年少人口指数	323

表 5 は 60 歳以降の幸福度決定要因である。60 歳以降において特に非ゼロとなった回数が多かったのは、生活関係のごみ 1 人 1 日当たりの排出量、ゲートボール、都道府県財政の社会福祉費割合、商工費割合、医療・健康の通院率、平均余命などであった。老後が近いこの世代では、自身の健康や将来世代への投資に関係する項目が非ゼロとなった。

#### 5. 結果の解釈

本節では、年代別幸福度決定要因の結果の解釈や比較を行う。前節で示された結果を元に 5 つの解釈 を行った。

#### ① スポーツはどの年代でも行った方がよい。

どの年代においても「スポーツ」に関連した項目が幸福度決定要因として挙げられている。24歳以下においては「剣道」、25~34歳では「ボウリング」、35~44歳では「ゴルフ」、45~59歳では「バスケットボール」「卓球」「スポーツ」、60歳以上では「ゲートボール」である。この結果から、どの年代でもスポーツをすることが重要であることがわかる。運動することによって得られる爽快感や肉体的疲労が幸福度に影響を与えていると考えられる。また、それぞれの年代においてスポーツの特色が出ており、例えば、24歳以下の「剣道」は部活動の影響、35~44歳の「ゴルフ」は会社での接待の影響が大きいと思われる。60歳以降の「ゲートボール」は体力的な問題を考慮すると、高齢者のスポーツとして妥当なものだといえる。

#### ② 所得の高低は幸福度には影響しない。

今回の結果から各年代の幸福度決定要因は大まかに分けると、「スポーツ」「勉強」「教育」「健康」「ボランティア」「結婚」などの項目が挙げられる。しかしながら、「所得」「労働」といった項目が出ていないことがわかる。そもそもお金関連の項目が、60歳以上の「社会福祉費割合」と「商工費割合」の二つしかない。このことからどの年代においても、資産をどれほど持っているかは幸福度に影響しないことがわかる。これは、冒頭で述べた「所得の高低と幸福の高低が国内外においてほとんど相関しない」と

いう「幸福のパラドックス」に当てはまっているといえる。

# ③「勉強」、「教育」はどの年代でも幸福度に影響している。

まず 24 歳以下においては「介護関係の学習者」の項目が「勉強」の代表例と解釈することができ、25~34 歳では「学業」の項目が「勉強」といえる。35~44 歳、45~59 歳では親世代ということもあり、「勉強」ではなく「教育」の項目が挙げられている。例えば、35~44 歳では「体育館数」「認定こども園数」である。この年代においては、自身の子どもはまだ小さいと考えられるので、子どもを遊ばせられる施設が重宝されていると考えられる。同様の理由から 45~59 歳では「大学数」が挙げられる。この年代においては自身の子どものおおよそ大学生にあたると考えられるので、親として「大学数」を考慮することは「教育」の一環として重要だといえる。そして 60 歳以降では「各種学校数」が挙げられる。これは余生を勉強して過ごすという高齢者が多いからではないだろうか。60 歳以降になると、子どもはほぼ独立していき、仕事も定年退職する人が多くなる。時間的余裕が生じたことで、新たに何か熱中できるものを模索すると考えられ、「勉強」が選択されるのである。高齢者になっても新しいことを学ぶというのは新鮮であり、どの年代においても共通した考えであると言える。

このように 24 歳以下、25~34 歳は若者ということもあり、何かを学ぶ「勉強」が幸福度に影響を与え、比較的子育てを行う人の割合が増加する 35~44 歳、45~59 歳においては「教育」が幸福度に影響を与えている。また、60 歳以降になると、子どもが独立したことにより時間的余裕が生じるため、「教育」ではなく、一種の娯楽としての「勉強」が幸福度決定要因となっている。

# ④ 35~44 歳、45~59 歳においては家計への意識が高まる。

前節の結果から、35~44 歳、45~59 歳で「消費者物価指数対前年変化率」が非ゼロとなっていることがわかる。まず消費者物価指数とは、消費者が実際に購入する段階の商品小売価格の変動を表す指数である。つまり消費者物価指数は、消費者が「今物価が前に比べてどのくらい上がっているか」などを見るものである。よって、この項目が非ゼロとなっているということは、その年代において家計への意識が高まっているといえる。35~44 歳、45~59 歳では、子どもの教育費を払ったり、老後の資金を意識したりしなければならないことから、家計管理への意識が高まるのは妥当だといえるだろう。

#### ⑤ 年齢の上昇に伴い一定の幸福度要因にまとまっていく。

③④の解釈を踏まえた上で、若い世代の幸福度決定要因は「被服及び履物費割合」や「着工新設貸家比率」など個人に紐づいた項目が多く、一定の項目に収束しにくいため、世代としての特徴が現れづらいと考えられる。しかし、年齢の上昇と共に自身の幸福の対象が子どもや家族に移っていくため、それに関連した「認定こども園数」や「核家族世帯割合」、「年少人口指数」などの教育や家族に関連した一定の項目に収束していくといえるであろう。

# 6. まとめと今後の展望

本稿では日本の年代別の幸福度決定要因を明らかにするため、Adaptive Lasso を用いた分析を行った。 分析の結果、若年層にあたる 24 歳以下の幸福度の決定要因は個人の趣味嗜好に関連するような項目が 非ゼロとなった。働くことが生活の中心になる 25 歳から 34 歳までの幸福度の決定要因は労働以外の時間に関連する項目が非ゼロとなった。家庭を持つ人が多くなる 35 歳から 44 歳までの幸福度の決定要因 は子育てに関連するような項目が非ゼロとなった。子どもがある程度自立するようになる 44 歳から 59 歳までの幸福度の決定要因は、家族とのつながりや自分自身が健康であるための項目が非ゼロとなった。 最後に 60 歳以上の幸福度の決定要因は自身の健康と将来世代への投資に関連する項目が非ゼロとなった。 た。

全体としてスポーツを行うことが幸福度を決定する上では大切であることがわかった。また、所得の 高低は幸福度に対して影響を与えないこともわかった。傾向として現れたのは、若い世代において幸福 度を決定づける要因が個人の趣味嗜好に関連するものであったため、非ゼロとして現れる項目が少なか った。しかしながら、年を重ねるにつれて幸福度を決定づける要因が自分個人に向けたものではなく、 子どもなどの将来世代へと移っていったため、子育てに関連する項目などが非ゼロとして多く現れるよ うになり、ある一定の項目に収束していくことがわかった。

このことから、社会全体の幸福度について見てみると、若者への投資を行うことがどの世代においても幸福度の上昇に繋がると考えられるため、幸福度を追求する際には本稿が少しでも参考になればと思う。

また、本稿の課題として、世代ごとの幸福度の決定要因を世代という大枠で区切ることで今回は分析を行うことができたが、近年晩婚化や単身世帯も増加している中で、各個人に紐づいた幸福度の決定要因までは今回の分析では行うことができなかった。幸福度は個人に基づいているものであるため、世代といった大枠ではなく、さらに細かい枠を用いた分析によって、各個人が参考にできる分析を行いたいと考えている。

## 謝辞

本稿の執筆に当たり、東京大学社会科学研究所附属社会調査・データアーカイブ研究センターSSJ データアーカイブから「満足度・生活の質に関する調査, 2019-2020」(内閣府)の個票データの提供を受けました。データの提供をいただきましたことにつきまして、厚く御礼を申し上げます。

## 参考文献

Easterlin, R. (1974). "Does economic growth improve human lot? Some empirical evidence." Nation and Households in Economic growth: Essays in Honor of Moses Abromowitz, ed. by Davis, P. A. & Reder, M. W. :pp. 89-125, London: Academic Press

Helson, H. (1947). "Adaptation-level as frame of reference for prediction of psychophysical data." The American journal of psychology 60, no.1: 1-29.

John F. Helliwell, Richard Layard, Jeffrey D. Sachs, Jan-Emmanuel De Neve, Lara B. Aknin, and Shun Wang (2022). "World Happiness Report." <a href="https://worldhappiness.report/ed/2022/">https://worldhappiness.report/ed/2022/</a> (閱覧日 2022/08/25) 厚生労働省(2021). "令和三年自殺対策白書".

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi\_kaigo/seikatsuhogo/jisatsu/jisatsuhakusyo2021. html . (閲覧日 2022/08/25)

政府統計窓口 e-Stat. https://www.e-stat.go.jp/(閲覧日 2022/07/23)

# 付表 説明変数に追加したデータ

0.88	Pritt-	an and	百州大泽	is or	O.RE	放得元	80	新来大学
or and	e-Stat	明日 同信地面積 1 km2当たり人口密度 【人】	押用力法 総人口/可体地面積	2019			明月 一般病院の1日平均在院患者数 (人口10万人当たり) 【人】	
	e-Stat	人口性比 (総数) [-]	総人口 (男) ×100/総人口 (女)	2019		e-Stat	平均余命(0歳・男)【年】	101.1.300.00
	e-Stat	将未推計人口 (2045年) 【人】		2019			平均余命(0歳・女)【年】	
	e-Stat	<b>昼夜間人口比率【%】</b>		2019		e-Stat	生活習慣病による死亡者数(人口10万人当たり)【人】	な活習情病による死亡者数/日本人人口
		年少人口捐款 [一]	15歳未満人口/15~64歳人口	2019		e-Stat	自殺者数(人口10万人目たり)【人】	自我省敦/日本人人口
	e-Stat	老年人口报款 [-] 但据太口报款 [-]	65歳以上人口/15~64歳人口 (15歳中津よ口+65歳以上人口) /15~64歳人口	2019		e-Stat	一般病院数(人口10万人当たり)【施設】 一般病院療得利用家【公】	一般病院数/积人口 一般病院女院要素证数/(一般病院病毒数×%5円)
		任馬人口指数【・】 人口増減率【%】	(15度末高人以上の度以上人以) / 15~6度人以 (税人口/税人口(約年度)) -1	2019	E8 - EN		一般時間別述利用率 【%】 軽度環保健指導数 (出度数100当たり) 【人】	一版例居在思想看起版》(一版例居所体数×305日) 赶度婚保健指導数/(出生数+死度数)
	e-Stat	人口理点年 [5] 自然增減率 [5]	(総人口/総人口(前年度)) -1 (出生数-死亡数) /総人口	2019	25.98 - 提位	e-Stat e-Stat	社産時保護指導数(出産駅100当たり) [人] 1人当たりの国民医療費【千円】	社直際保護有導数/(出生数十先直数)
	e-Stat	年齢別死亡章 (0~4歳) (人口千人当たり) 【・】	死亡数 (0~4億) / 0~4億人口	2019		a. Stat	年間教急出動件数(人口千人当たり)【件】	教育会副件数/舰人口
	e-Stat	社会地域率 [54]	70-m (1 - 1007) - 1000-	2019		e-Stat	薬器数(人口10万人当たり)【所】	事品数/积人口
	e-Stat	表入人口比率 [%]	流入人口(従業地・通学地人口) /総人口	2015		e-Stat	国民健康保険被保険者数(人口千人当たり)【人】	国民健康保険被保険者数/転人口
	e-Stat	流出人口比率【N】	流出人口(従業地・通学地人口)/粉人口	2015		e-Stat	生活保護被保護実世帯数(月平均一般世帯千世帯当たり)【世帯】	立活保護被保護実世等数/一般世等数
	e-Stat	一般世帯の平均人員【人】	一般世帯人長/一般世帯数	2015		e-Stat	老人ホーム数 (65歳以上人口10万人当たり) 【所】	ぞ人ホーム数(詳細等) /65歳以上人口
		核家族世帯割合【9、】	核家族世帯数/一般世帯数	2015			児童福祉施設等数(人口10万人当たり)【所】	児童福祉地設等数(詳細原)(保育所等を除く)/総人口
	e-Stat	機械率 (人口千人当たり) 【・】	暗垢件数/粉人口	2019		e-Stat	自然公園園積割合【%】	自然公園面積/粉面積(北方地域及び竹島を除く)
		翻婚率 (人口千人当たり) 【・】 ※独位等薪会 [%]	離婚件数/形人口	2019			可住地面積割合 [%]	可住地面積/穀面積(北方地域及び竹島を除く)
		単独区中初会 [5] 65億以上の世帯長のいる世帯割会 [5]	単独世帯教/一般世帯教 65歳以下の甘華森のいろ甘華教/一般世帯教	2015			年平均気温 [ C] 器高気温 (日間高気温の月平均の器高値) [ C]	
		始減以上の室申責のいる室申前会 [%] 高齢失調のみの世帯の割合 [%]	お助成以上の区等員のいる区等数/一般区等数     高齢夫婦世帯数 (高齢夫婦のみ) /一般区等数	2015			報典別選(日報典別選の月平均の報典値) [ C] 関係管理(日間係管理の月平均の関係値) [ C]	
	e-Stat	高齢定身世帯の割合【3】	高齢至身世帯数 (高齢大明124) / 一枚以甲枚 高齢至身世帯数 / 一般世帯数	2015			第15元編(日報5元編の月十四の報5編) 【 C』 年平均額対温度 【16】	
	e-Stat	自主対源の割合(都道府県対政)【%】	自主財源額 (都道府県財政) / 政出決算総額 (都道府県財政)	2019			世帯日数 (年間) 【日】	
	e-Stat	株力権理在高の割合(都進兵書財政) [N]	第方信限な高(総造行用対政) / 歳出入算形閣(報道行用対政)	2019			陳水日散 (年間) 【日】	
	e-Stat	经常收金比率 (板道府県財政) [5]	TOTAL CONTINUES AND	2019			雷日数 (年間) 【日】	
	e-Stat	一般財源の割合(都道府県財政) [N]	一般財源 (都道府県財政) /歳出決算総額 (都道府県財政)	2019			日前時間(年間)【時間】	
行政	e-Stat	地方視割合(都道府県財政) [%]	地方稅 (都道府県財政) /歳入決算総額 (都道府県財政)	2019		e-Stat	降水量 (半間) [mm]	
	e-Stat	地方交付税割合(都進府県財政) 【N】	地方交付稅 (都道府県財政) /歳入決算総額 (都道府県財政)	2019		e-Stat	森林園積期合【%】	森林国際/釈国際(北方地域及び竹島を除く)
	e-Stat	国庫支出金割合(都道府県財政) 【%】	国库支出金(都道府縣財政)/歳入決算総額(都進府無財政)	2019			常設映画館数 (人口100万人当たり) 【館】	常設映画総数/総人口
	e-Stat	人口1人当たり住民税(都進府県・市町村財政会計)【千円】	都道府県民税+市町村民税/総人口	2019			一般総券発行件数(人口千人当たり)【件】	一般旅券発行件数/総人口
	e-Stat	人口1人当たり固定資産税(都連府県・市町村財政会計)【千円】	国定資産稅(都道府県稅+市町村稅)/総人口	2019			客室標業率 【%】	
	e-Stat	国税権収決定済額 (人口1人当たり) 【千円】	国税缴収决定済報/粉人口	2019			公開館数(人口100万人当たり) 【館】	公式総数/核人口
	e-Stat	課税対象所得(納税義務者1人当たり)【千円】	課稅対象所得/納稅義務省数 (所得期)	2019			図書館数(人口100万人当たり)【館】	図書規数/秋人口
	e-Stat	納税義務者割合(都道府県民1人当たり) 【%】	的稅義務者款 (所得割) /総人口	2019		e-Stat	博物館数(人口100万人当たり)【館】	等物能数/舰人口
	e-Stat	民生費割合(都道府県財政) [%] 社会福祉費割合(都道府県財政) [%]	武士貴(都道府県財政)/歳出決算総額(都道府県財政) 社会福祉費(都道府県財政)/歳出決算総額(都道府県財政)	2019		e-Stat	青少年教育施設数 (人口100万人当たり) [所] 社会体育施設数 (人口100万人当たり) [施設]	青少年教育施設数/程人□
		社会福祉費割会(都進行非財政)[%] ※人理計費割会(都進行非財政)[%]	社会福祉費(都進行推財政) / 政出決算総額(都進行無財政) ※人福祉者(超進行無財政) / 由北沙軍総額(超進行無財政)	2019		e-Stat e-Stat	社会体育施設数 (人口100万人当たり) 【施設】 係日的運動に運動 (公共) (人口100万人当たり) 【施設】	社会体育施設数/根人口 毎日的運動が課数/根人口
		老人保証責務会(都道所等所収)[%] 使業福祉費割会(都道府県財政)[%]	<ul><li>・ で人保祉費(都追付用的成) / 規当次算形職(都追付用的成)</li><li>・ 児童福祉費(都適所用的政) / 適当次算形職(都適所用的政)</li></ul>	2019			多目的連動に場故(公共) (人口100万人当たり) 【施政】 体官部数(公共) (人口100万人当たり) 【施設】	参目的連動以場故/総人口 体育部数/能人口
	e-Stat	元皇操住員的官(申項行号刊取) [N] 本活保護費割合(都道府県財政) [N]	の選集権に関(他組付用的政) / 東田沢算事報(他組付用的政) 生活保護費(都進行係財政) / 東出決算総額(都進行係財政)	2019			水泳プール数 (屋内、屋外) (公共) (人口100万人当たり) 【物設】	90日用窓/ 和人口 水泳ブール数(屋内・屋外)/町人口
		本語は現実的で(の祖内の州の) [N] 衛生費割合(都道府県財政) [N]	本治体改列 (新祖行作列以) / 成立次算形報 (新祖行作列以) 衛生費 (都道府県財政) / 進出決算影響 (都道府県財政)	2019			ポランティア活動の年間行動者第(10歳以上) [5]	837-98 (EN-EH) / 8AU
	e-Stat	労働費割会 (都道府県財政) [5]	外衛費(都進行用的政)/東出決軍総額(都進行用的政)	2019			スポーツの年間行動者至(10歳以上)【別】	
	e-Stat	<b>農林水産業費割合 (都道府県財政) 【51】</b>	農林水産業費 (都通行無財政) /鹿出汝軍総額 (都通行無財政)	2019			銀行・行楽の年間行動者室 (10歳以上) 【%】	
	e-Stat	新工業制会 (都進行機制法) [N]	高工費 (都道府県制設) /政出決算総額 (都道府県制設)	2019		e-Stat	海外旅行の年間行動者率 (10歳以上) 【N】	
	e-Stat	土木費割合 (都道府県財政) [%]	土木費 (都道府県財政) /政出決算総額 (都道府県財政)	2019			着工新設住宅比率【%】	最工研設は宅戸数/居住世帯あり住宅数
	e-Stat	警察費割会(都進行得財政) [%]	警察費(都道府県財政) / 政出決質総額(都道府県財政)	2019		e-Stat	着工新設持ち家比率【%】	着工新放抖も家数/着工新放住宅戸数
	e-Stat	消防費割合 (都·市町村財政合計) 【%】	消防費 (東京都+市町村財政) /鹿出決算総額 (東京都分含む)	2019		e-Stat	着工新設貨家比率【%】	<b>着工新放貨家数/着工新設住宅戸数</b>
		教育費割会(都進行用財政)【N】	教育費(都道府県財政)/敷出決算総額(都道府県財政)	2019		e-Stat	時も東北率【%】	特も家数/居住世帯あり住宅数
		災害復日費割合(都道府県財政) 【%】	災害復旧費 (都道府県村政) /政出決算総額 (都通府県村政)	2019			備東比率【%】	情家数/居住世帯あり住宅数
		人件費割合(都進府県財政) 【%】	人件費 (都道府県財政) /政出決算総額 (都通府県財政)	2019			京さ家北京 [51]	京多宗教/粉住宅教
	e-Stat	扶助費割合(都道府県財政) [N]	<b>扶助費(都道府県財政)/政出決算総額(都通府県財政)</b>	2019		e-Stat	能力需要是【Mwh】	
	e-Stat e-Stat	普通建設事業費割合(都通行票制設)[N]	普通建設事業費(都通行原財政)/鼎出決算総額(都通行原財政)	2019		e-Stat	ごみ埋立事 [6]	ごみ期終処分量/ごみ総辞出量
		銀内粉生産職対約年増加軍 (平成23年基準) 【%】 銀匠所得対約年増加軍 (平成23年基準) 【%】	(県内粉生産額/県内粉生産額(前年度)) -1 (商数所得/県設所得(前年度)) -1	2017		e-Stat	最終処分場別余容量【千m3】 下水道普及軍(2012-) [%]	下水道排水区域人口/住民基本台领人口(报数)
		県区所得対影平理型単(平成25年基準) [%] 経験影響と変 [%]	(県区所得/県区所得(別平及)) -1 鉱油面積/彩面積(シカ油加下が作品を除く)	2007			下水道管及率 (2012-) [56]   水沖を A 口分室 [56]	ド水道所水区域人口/住民基本省物人口(世政) 下水道によるトイレ水沖をよ□/下水道処理区域よ□
		施密開催に申 [N] 位施第 [N]	新市高級 が高級 (北方市場及び1) 南マ時へ) 就施件数 (年度計) / 月間有効支援者数 (年度計)	2020	家族・生活		が元元人口応半 [7] 都市ガス保祉区域内世帯比率 [9]	COMPANY AND A CONTRACTOR OF THE PROPERTY AND A STATE OF TH
	e-Stat	根外就職者比率 [%]	他県への就職件数(一般)(年度計)/就職件数(一般)(年度計)	2020			郵便用数 (可住地面積100km2当たり) 【刷】	影便易数/可住地图槽
		有効求人信草【倍】	月間有効求人数 (半度計) / 月間有効求職者数 (半度計)	2020			理容・美容所数 (人口10万人当たり) 【所】	理容・美容所数/ 総人口
	e-Stat	パートタイム対策率 (常用) 【私】	パートタイム就職件数(常用) /パートタイム月間有効求職者数(常用) (年度計)	2020		e-Stat	クリーニング所数 (人口10万人当たり) 【所】	クリーニング所数/報人口
	e-Stat	就樂者比率 [%]	<b>就單省款/労働力人</b> 口	2015		e-Stat	公衆浴場数 (人口10万人当たり) 【所】	公衆浴場数/和人口
		第1次產業就業者比率【%】	第1次產業效果者数/效果者数	2015			絵油所数(道路実延長100km当たり)【箇所】	松油所数/道路实延長
nm - 55.76	e-Stat	第2次產業就業者比率【%】	第2次產業就業者数/就業者数	2015			電話加入数(人口千人当たり)【加入】	<b>電磁加入数/形人口</b>
		第3次產業故業者比率 [%]	第3次產業就業者数/就業者数	2015			住宅用電話加入数(人口千人当たり)【加入】	住宅同意延加入数/稅人口
		党全大県草【知】	完全失業者数/労働力人口	2015		e-Stat	公常電話物設数(人口千人当たり)【個】	公衆電腦物設数/稅人口
		共働多位等割合【%】 種用者比率【%】	共働き世帯数/一般世帯数	2015			携帯電話契約数(人口千人当たり)【契約】	<b>核等電話契約数/総人口</b>
		提用者比率 [%] 提内就業者比率 [%]	提用者数/贫業者数 组内贫業者数/贫業者数	2015			小売店数 (人口千人当たり) 【店】 道路平均交通要【会/2分】	· 壳高数/ 税人口
		原内抗薬者北非 [%] 大学新規卒業者の無業者至 [%]	即内以原舎収/以原舎収 大学卒業者のうち無原舎数/大学卒業者数	2019			國路平均交通里 [6/12h] 位居專用地國際批准 [6]	<b>住居專用地域區積/用途地域面積</b>
	e-Stat e-Stat	大学和規學業者の無業者を [%] 大学卒業者に占める就職者の割合 [%]	大学年業者のうち世級者数/大学年業者数 大学卒業者のうち世級者数/大学卒業者数	2019		e-Stat e-Stat	征居寺用地坡與模比率 [%] 近隣商業地域医模比率 [%]	征然号用地址高模/用途地址直模 近隣高層地址直積/用途地址直積
		スチャ単省に2000以際省が約2 [76] 高齢一般労働者割合 (65歳以上) [96]	人子や来省以7 936年官以7 入子や来省以 一般労働者数(65歳以上)/65歳以上人口	2019			近回対策を後に列北中 [7-] 都市公園数 (可住地面積100km2当たり) [所]	近無可能や体系性/ 円立や体系性 都市公園数/可住地面積
			正田本告/有業本告 	2017			河防衛数 (可信地運輸100km2所たり) [第]	西防水高・署数/可住地面積 西防水高・署数/可住地面積
		EBS [%]				e-Stat	大災出火件数 (人口10万人当たり) 【件】	当大件数/形人口
	e-Stat	旧版章 [火]   御版章 [火]	<b>開版者数/(経続対策者数+転版者数+期版者数)</b>	2017				建物火災機需額/建物火災出火件数
	e-Stat		関版者数/領板技術者数+胚版者数+関版者数) 小字校数/6~11歳人口	2019		e-Stat	建物大災損害額 (建物大災1件目たり) 【万円】	
	e-Stat e-Stat e-Stat e-Stat	継順率 [%] 小学校数 (6~11歳人口10万人当たり) 【校】 中学校数 (12~14歳人口10万人当たり) 【校】	小学校数/6~11億人口 中学校数/12~14億人口	2019 2019		e-Stat	交通事故発生件数 (人口10万人当たり) 【件】	交通事故発生件数/稅人口
	e-Stat e-Stat e-Stat e-Stat	御職事 [%] 小学校数 (6-11歳人口10万人前たり) 【校】 中学校数 (12~14歳人口10万人前たり) 【校】 高等学校数 (15~17歳人口10万人前たり) 【校】	<b>小学校数/6~11歳人口</b> <b>中学校数/12~14歳人</b> 口 <b>用学学校数/12~14歳人</b> 口	2019 2019 2019		e-Stat	交通事故身本件数 (人口10万人目たり) 【件】 交通事故死痛者数 (人口10万人目たり) 【人】	交通等效免令作款/统人口 交通等效死落者数/统人口
	e-Stat e-Stat e-Stat e-Stat e-Stat e-Stat	施施王 [5] 今中改版 (か-11億人口10万人他たり) [4] 今中企版 (22-14億人口10万人他たり) [42] 高等中位数 (15-17億人口10万人他たり) [42] 高等学校 (15-17億人口10万人他たり) [43]	今学校数/6-11歳人口 中学校数/12-14歳人口 高等学校数/15-17歳人口 幼稚園数/3-5-8歳人口	2019 2019 2019 2019		e-Stat e-Stat e-Stat	交通事故発生件数 (人口10万人指左り) 【件】 交通事故死傷者数 (人口10万人指左り) 【人】 適路交通法遣反検挙件数 (人口千人指左り) 【件】	交通事故免年的数/能人口 交通事故死海佛教/能人口 有数次通途最终/能入口
	e-Stat e-Stat e-Stat e-Stat e-Stat e-Stat e-Stat	勝衛軍 [4]  今学校教 (5-14歳人口10万人前たり) [4]  今学校教 (12-14歳人口10万人前たり) [4]  高等学校教 (13-17歳人口10万人前たり) [4]  35等政 (5-17歳人口10万人前たり) [5]  (3百万教 (6-5歳人口10万人前たり) [5]	- 学校歌/で-11歳人口 学校歌/ブー-14歳人口 美学学教/ブー-14歳人口 は海真教/ブ-14歳人口 は海真教/ブ-14歳人口	2019 2019 2019 2019 2019		e-Stat e-Stat e-Stat e-Stat	交通事故身生件数(人口10万人当たり)【件】 交通事故身生保善数(人口10万人当たり)【八】 通路交通池道及被学件数(人口千人当たり】【件】 警察官数(人口千人当たり】【八】	交通事故身在件数/形人口 交通事故所编者数/形人口 每年交通法查及榜审辩件数 (自知·远数) /形人口 器件官数/形人口
	e-Stat e-Stat e-Stat e-Stat e-Stat e-Stat e-Stat e-Stat	無報官 (5) ・ 小学数 (6-11(8)人10(5)人後たり) (8) ・ 小学数 (6-11(8)人10(5)人後たり) (8) ・ 小学数 (6-11(8)人10(5)人後たり) (7) ・ 小学数 (6-11(8)人10(5)人んたり) (7) ・ 小学数 (6-11(8)人10(5)人んたり) (7) ・ 小学数 (6-11(8)人10(5)人んたり) (7) ・ 小学数 (6-11(8)人10(5)人んたり) (7)	1998年	2019 2019 2019 2019 2019 2019		e-Stat e-Stat e-Stat e-Stat e-Stat	公園帯放発会日数 (人口10万人名左号) [在] 公園市政府会数 (人口10万人名左号) [在] 園和公園市通過及房房中報 (人口十人名左号) [行] 警察官数 (人口十人名左号) [人] 反配本の投資投資機 (優布契約14名と号) [万円]	交通事故免年的数/能人口 交通事故死海佛教/能人口 有数次通途最终/能入口
	e-Stat e-Stat e-Stat e-Stat e-Stat e-Stat e-Stat e-Stat e-Stat	職職 [4]  →学教養 (47-148A人口紹介ABA-9) [8]  →学教養 (47-148A人口紹介ABA-9) [8]  →学教養 (47-148A人口紹介ABA-9) [8]  が開業 (47-48A人口紹介ABA-9) [8]  が開業 (47-48A人口紹介ABA-9) [8]  ※定こて企業 (47-48A人口紹介ABA-9) [8]  ※定こて企業 (47-48A人口紹介ABA-9) [8]	#998E/#-1148.0.1   #998E/#-1148.0.1   #998E/#-146.0.1   #998E/#-146.0.1   #998E/#-146.0.1   #998E/#-146.0.1	2019 2019 2019 2019 2019 2019 2019		e-Stat e-Stat e-Stat e-Stat e-Stat e-Stat	交通等総身生存数 (人口10万人前たり) [作] 交通等級貨用機数 (人口10万人前たり) [人] 超級交通池域及時間数 (人口4万人前たり) [人] 警察官数 (人口4万人前たり) [人] 原理立命受限保険金額 (保有契約10年5七り) [万円] 東及人 (二人以上の即率のうる股份者回率) (22等前たり10月間 [千円]	交通事故身在件数/形人口 交通事故所编者数/形人口 每年交通法查及榜审辩件数 (自知·远数) /形人口 器件官数/形人口
	e-Stat	画面 (5) 中学院 (6-1MA/LIDSY/ABP.9) [6] 中学院 (6-1MA/LIDSY/ABP.9) [6] 中学院 (6-1MA/LIDSY/ABP.9) [6] 日本学院 (6-1MA/LIDSY/ABP.9) [6] 日本学院 (6-1MA/LIDSY/ABP.9) [6] 日本学院 (6-1MA/LIDSY/ABP.9) [6] 日本学 (6-1MA/LIDSY/ABP.9) [6] 日本学 (7-1MA/LIDSY/ABP.9) [6]	→ 1982 (**) - 1184.0 (**) -	2019 2019 2019 2019 2019 2019 2019 2019		e-Stat e-Stat e-Stat e-Stat e-Stat e-Stat e-Stat	②信息を含む (人口(日天) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	企業を発生的大学ALO 国際企業企業を開催して、 国際企業企業を開催して、 国際企業企業を開催して、 「関係となった」 「関係となった」 「関係を表現して、 「関係となった」 「関係となった」 「関係となった」 「関係となった」 「関係となった」 「関係となった」 「関係となった」 「関係となった」 「関係となった」 「関係となった」 「関係となった」 「関係を表現して、 「関係を表現して、 「関係を表現して、 「関係となった」 「関係となった」 「関係を表現して、 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「
	e-Stat	### (5)	##886/F-1-184.0 ##988/F-1-184.0 ##988/F-1-184.0 ##988/F-1-184.0 ##988/F-1-184.0 ##988/F-1-184.0 ##988/F-1-184.0 ##988/F-1-184.0 ##98/F-1-184.0 ##98/F-1-184.0	2019 2019 2019 2019 2019 2019 2019 2019		e-Stat e-Stat e-Stat e-Stat e-Stat e-Stat e-Stat	公園等級自由在 (人口回天人出生り) [6]  國際政策組織 (人口回天人出生り) [6]  國際政策組織 (人口回天人出生り) [6]  國際政策組織 (人口巨大人出生り) [6]  國際政策組織 (保護財政出生り) [7]  四郎政政政務組織 (保護財政出生り) [7]  四郎政政政務組織 (保護財政出生り) [7]  阿爾太江 (二人以上の原理) [12等由七寸10月間 [4円]  阿爾太江 (二人以上の原理) [12等由七寸10月間 [4円]	少益報告を担当を「出し 通常を直接を開発権を「出し 適定を直接を開発権を 適定を直接を担当 適定を登録を表現し 適定を登録を表現し 適定を登録を表現し 適定を登録を表現し 適定を登録を表現し 適定を登録を表現し 適定を登録を表現し 適定を登録を表現し 適定を表現し 一定を表現を 一定を 一定を 一定を 一定を 一定を 一定を 一定を 一定
百一粒子	e-Stat e-Stat e-Stat e-Stat e-Stat e-Stat e-Stat e-Stat e-Stat e-Stat e-Stat e-Stat e-Stat e-Stat e-Stat	BBE (13)  OWER (G-10EACHER/ABEA) [6]  OWER (G-10EACHER/ABEA) [6]  OWER (G-10EACHER/ABEA) [6]  OWER (G-10EACHER/ABEA) [7]	**PREME/TH-MAICA   APPREME/TH-MAICA   APPREME/TH-	2019 2019 2019 2019 2019 2019 2019 2019		e-Stat	公司等の指令の指令(ACIDS)、ARS () [4]  公司等の指令的 (ACIDS)、ARS () [4]  相対立式の対象の対象の (ACIDS)、ARS () [4]  相対立式の対象の対象の対象の対象の対象の対象の対象の対象の対象の対象の対象の対象の対象の	近着物色を含めておより 通常が表生を表生のである。 通常が表生を表生のである。 一部であると、一部であると、一部である。 「原生の生命をある。」 「原生の生のをある。」 「原生のをある。」 「原生のをある。」 「原生のをある。」 「原生のをある。」 「原生のをある。」 「原生のをある。」 「原生のをある。 「原生のをなる。 「をなる をなる をなる をなる をなる をなる をなる をなる をなる をなる
オロマ 一郎学	e-Start	BBE [13]  OWER GH-IBRADIENARAD [6]  OWER GH-IBRADIENARAD [6]  OWER GH-IBRADIENARAD [6]  ANNER GH-IBRADIENARAD [7]  STATE	PRESE/T-1-184.C	2019 2019 2019 2019 2019 2019 2019 2019		e-Stat	公司等の場合の日本の日本の10年 (日)  の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の	公園的最後の下出込 通常が直接を取り換えて払い 通常が直接を取り換えて払い 再記 自然のは、 第23 自然のは、 第23 自然のは、 第23 自然のは、 第24 自然のは、
百·粒学	e-Start	MER (1) OPER G-HEADISTARCH [0] OPER G-HEADISTARCH [0] OPER G-HEADISTARCH [0] OPER G-HADISTARCH [0]	**PREATO-1-184.CO	2019 2019 2019 2019 2019 2019 2019 2019		e-Stat	20番目を表出され (人口(05人34かつ) (2)  20番目を表出され (人口(05人34かつ) (3)  40年20番目を表出され (人口(人) (4)  40年20番目を表出され (人口(人) (4)  40年20番目を表出され (人口(人) (4)  40年20番目を表出され (人口(人) (4)  40年20年日 (人)	「日本教育を表現を担任しています。」 「日本教育を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を
百、勉学	e-Start	BASE (1)  OPER G-HEACHERANES AND 193  EVER G-HEACHERANES AND 193  EVER G-HEACHERANES AND 193  EVER G-HEACHERANES AND 193  EVER G-HEACHERANES (1)  EVER G-HEACHERANES (1)  EVER G-HEACHERANES (1)  EVER G-HEACHERANES (1)  EVER EVER G-HEACHERANES (1)	**************************************	2019 2019 2019 2019 2019 2019 2019 2019		e-Stat	公司等年度会長 (人口部分A40・) (5)  (金融等年度会長 (人口部分A40・) (5)  (金融等年度会長 (人口がA40・) (6)  (本記分本の会長 (人口がA40・) (6)  (本記入本の会長 (人口がA40・) (6)	公益等の各名の上下払い 通常で表生を表生した 通常で表生を表生を担合し、 通常で表生を表生を表生した。 一定したのかで、またのかで、またので、またので、またので、またので、またので、またのであると、「変生・のかからを行った。」 可能で、これないでは、またので、またので、またので、またので、またので、またので、またので、 同様で、これないでは、「からない」とか考えな、これないでは、 第4年 であると思うで、またので、「からない」となって、またので、またので、またので、 第4年 であると思うで、またので、「からない」となって、またので、またので、またので、「からない」となって、またので、「からない」となって、またので、またので、またので、またので、またので、またので、またので、またので
X百 - 勉学	e-Start	MER (1)  OPER GI-HACHENARAN (1	1998年7-1341.0   1998年7-1341.0   1998年7-1341.0   1899年8-13-1341.0   1899年8-13-13-13-13-13-13-13-13-13-13-13-13-13-	2019 2019 2019 2019 2019 2019 2019 2019		o-Stat	公務事業長前 (人口部(人名かり) (日) の事業業長前 (人口部(人名かり) (日) の事業業長前 (人口部(人名かり) (日) の事業業長前 (人口部(人名かり) (日) の事業業長前 (人口の事業) (日) の事業業長前 (日) (日)	(20 新年8年8月 FALC) (20 新年8年8月 FALC) (20 大日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本
百一粒学	e-Start	MINE (1)  OPER G-HEADISTANCE (	**PREATURE   THE   ************************************	2019 2019 2019 2019 2019 2019 2019 2019		o-Stat	ORBERTAN COURTANN	び参加を含めまである。  「日本の事業を表現した。  「
河-88学	e-Start	MER (1)  OPER GI-HACHENARAN (1	**************************************	2019 2019 2019 2019 2019 2019 2019 2019		o-Stat	公務事業長前 (人口部(人名かり) (日) の事業業長前 (人口部(人名かり) (日) の事業業長前 (人口部(人名かり) (日) の事業業長前 (人口部(人名かり) (日) の事業業長前 (人口の事業) (日) の事業業長前 (日) (日)	(20 新年8年8月 FALC) (20 新年8年8月 FALC) (20 大日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本
海-粉学	e-Start	BARE (1)  OWER (G-IMACHEKAREN, AND ) (2)  OWER (G-IMACHEKAREN, AND ) (3)  OWER (G-IMACHEKAREN, AND ) (3)  EARLY (G-IMACHEKAREN, AND ) (4)  EARLY (G-IMACHEKAREN, AND ) (5)  EARLY (G-IMACHEKAREN) (6)  OWER (G-IMACHEKAREN) (6)	**************************************	2019 2019 2019 2019 2019 2019 2019 2019		e-Stat	公司等年後の日本 (人口(日本人のもつ) (日) 金融等年後の日本 (人口(日本人のもつ) (日) 金融が出産権の人口(日本人のもつ) (日) 金融が出産権の人口(日本人のもつ) (日) 金融が出産権の日本 (人口(日本人のもつ) (日) 年初 (人口(日本人のもつ) (日) 年初 (人口(日本人のもの) (日本人のもつ) (日) 年初 (人口(日本人のもの) (日本人のもつ) (日本人のもつ) (日本人のもつ) (日本人のもつ) (日本人のもつ) (日本人のもつ) (日本人のもつ) (日本人のもつ) (日本人のもつ) (日本人のもの)	(2番号を表示となる) (2番号
改百一勉学	e-Start	MER (1)  OPER GHIRACHENAROU (8)  OPER GHIRACHENAROU (8	***PREPATE   ***	2019 2019 2019 2019 2019 2019 2019 2019		e-Stat	GREENERS (ACRESSANCE)   GREENERS (GREENERS ACRESSANCE)   GREENERS (GREENERS (GREENERS ACRESSANCE)   GREENERS (GREENERS (GREENE	(2番音を表示を大型人) (2番音を表示を大型人) (2番音を表示を大型人) (2番音を表示を表示を大型人) (2番音を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を
	e-Start	MERIC (3)  OPERS G-HEADISTARCH (19)  OPERS G	**************************************	2019 2019 2019 2019 2019 2019 2019 2019		e-Stat	OMMERSHING COMMAND (S)  OMMERSHING COMMAND (S)  OMMERSHING COMMAND (S)  OMMERSHING COMMINSTER (S)	28564568.P.M.C.  2856468.P.M.C.  28564568.P.M.C.  2856468.P.M.C.  285646
· 有 · 勉学	e-Start	MER (1)  OPER GHIRACHENAROU (8)  OPER GHIRACHENAROU (8	***PREPATE   ***	2019 2019 2019 2019 2019 2019 2019 2019		e-Stat	GREENERS (ACRESSANCE)   GREENERS (GREENERS ACRESSANCE)   GREENERS (GREENERS (GREENERS ACRESSANCE)   GREENERS (GREENERS (GREENE	(2番音を表示を大型人) (2番音を表示を大型人) (2番音を表示を大型人) (2番音を表示を表示を大型人) (2番音を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を